

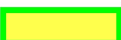
更新版

光が丘町内会防災マップ

作成: 光が丘町内会
作成年月: 令和7年6月

この防災マップは、私たちの町・光が丘で発生が想定される豪雨災害に対応するため、危険箇所や避難施設などを表示したものです。このたび一部の地区が特別警戒区域に追加指定されました。

●土砂災害防止法(裏面に詳細)の指定区域

警戒区域	土石流	
	がけ崩れ	
特別警戒区域	がけ崩れ	

◆警戒区域: 土砂災害の恐れのある区域。情報伝達、警戒避難体制の整備を進めます。

◆特別警戒区域: 建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れのある区域。建築物の構造規制、特定の開発規制、移転の勧告等を行います。

●写真の場所

●避難時要注意道路
崖崩れで通行不能になったり、豪雨で川のようになり、歩きにくくなる道路です。

●谷筋
谷があったところは、宅地造成時に谷を埋め、盛り土をしているところもあり、地震で崩れやすい特徴があります。

■町内会の境界■

広島市の防災アプリ 「避難所へGO!」のご利用を

広島市が提供する「避難所へGO!」は、災害時に市民の迅速な避難を支援するためのアプリです。今いる場所の危険度や最寄りの避難所などが検索できます。



ダウンロード



平成30年7月の西日本豪雨により土砂崩れが発生。令和7年3月やっと防災工事が完成しました。



非常持出品

非常持出品は、リュックに詰めてすぐ持ち出せるよう事前に準備!

□水(500mlのペットボトルを3本程度) □非常食(ビスケット、チョコレートなど) □携帯電話・充電器 □懐中電灯 □簡易携帯トイレ □タオル □常備薬 □お薬手帳 □マスク □その他()

警戒レベル3で避難準備!

新たに特別警戒区域に指定された箇所

脆く崩れやすくなった崖に木が繁り、倒れやすい。

尾長天満宮

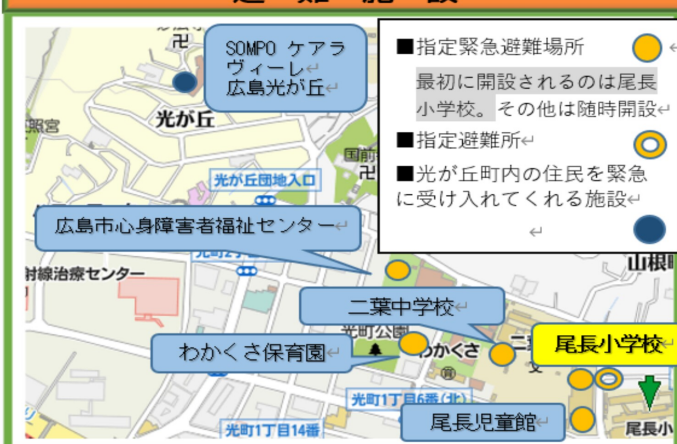
1926年9月の豪雨で土石流が発生し、本殿・拝殿などが倒壊・流出しました。境内には土砂に埋まった鳥居が残っています。

坂道が大雨で急流の川になります。

光が丘山根公園

崖の上は5階建てビルよりも高い。

避難施設

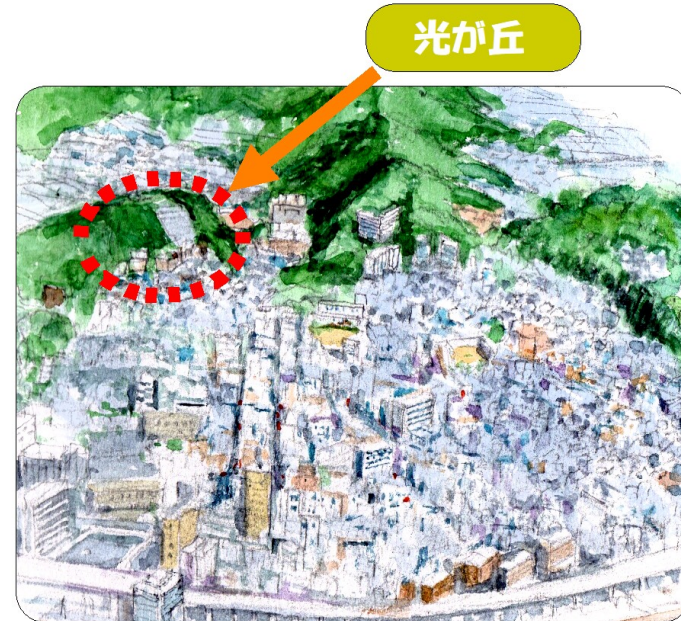


わが町のリスクを知る

二葉山の斜面に発展、地質は花崗岩。風化層の崩壊による、がけ崩れや土砂流出の恐れあり

■ 私たちが生活する光が丘は、昭和30年代後半、標高134メートルの二葉山南側斜面に造成された住宅団地です。二葉山から尾長山をつなぐ天神峠や尾長山の斜面も、光が丘同様、多くの住宅や学校、福祉施設が立地しています。山地部の地質は、広島花崗岩と呼ばれ、大雨や地震により、風化層が崩壊し、がけ崩れや土砂流出等の恐れがあります。

■ 一方、尾長小学校をはじめ、緊急避難場所が多く立地する光町や若草町などの平地部は、府中大川や太田川の洪水や内水氾濫などにより、浸水が想定されている場所も多く、避難が妨げられる場合もあります。



光が丘

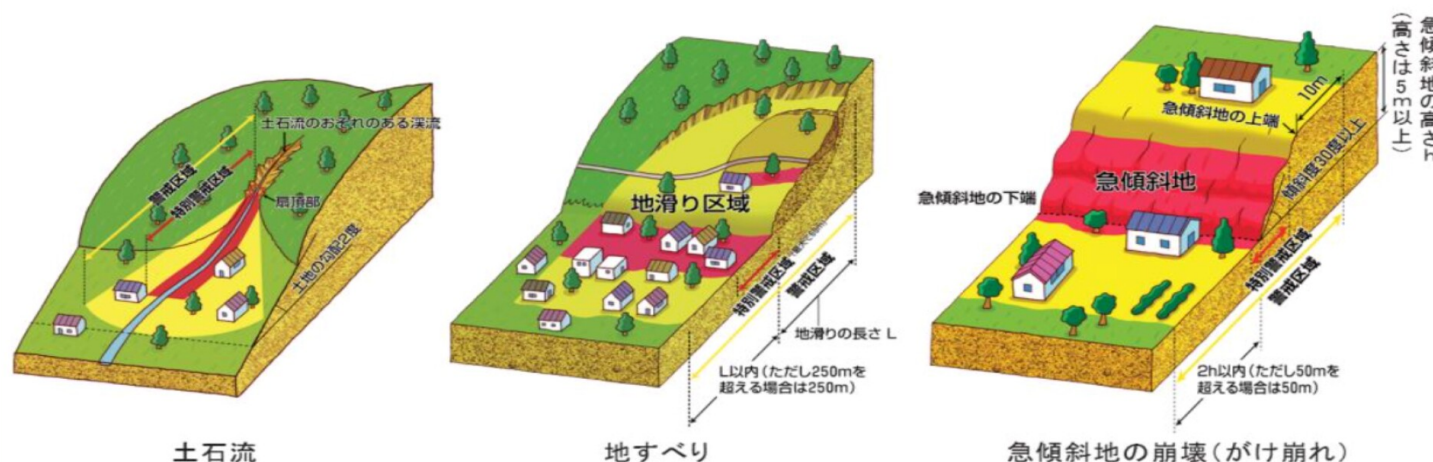
土砂災害防止法とは

■ 土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害の恐れのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促

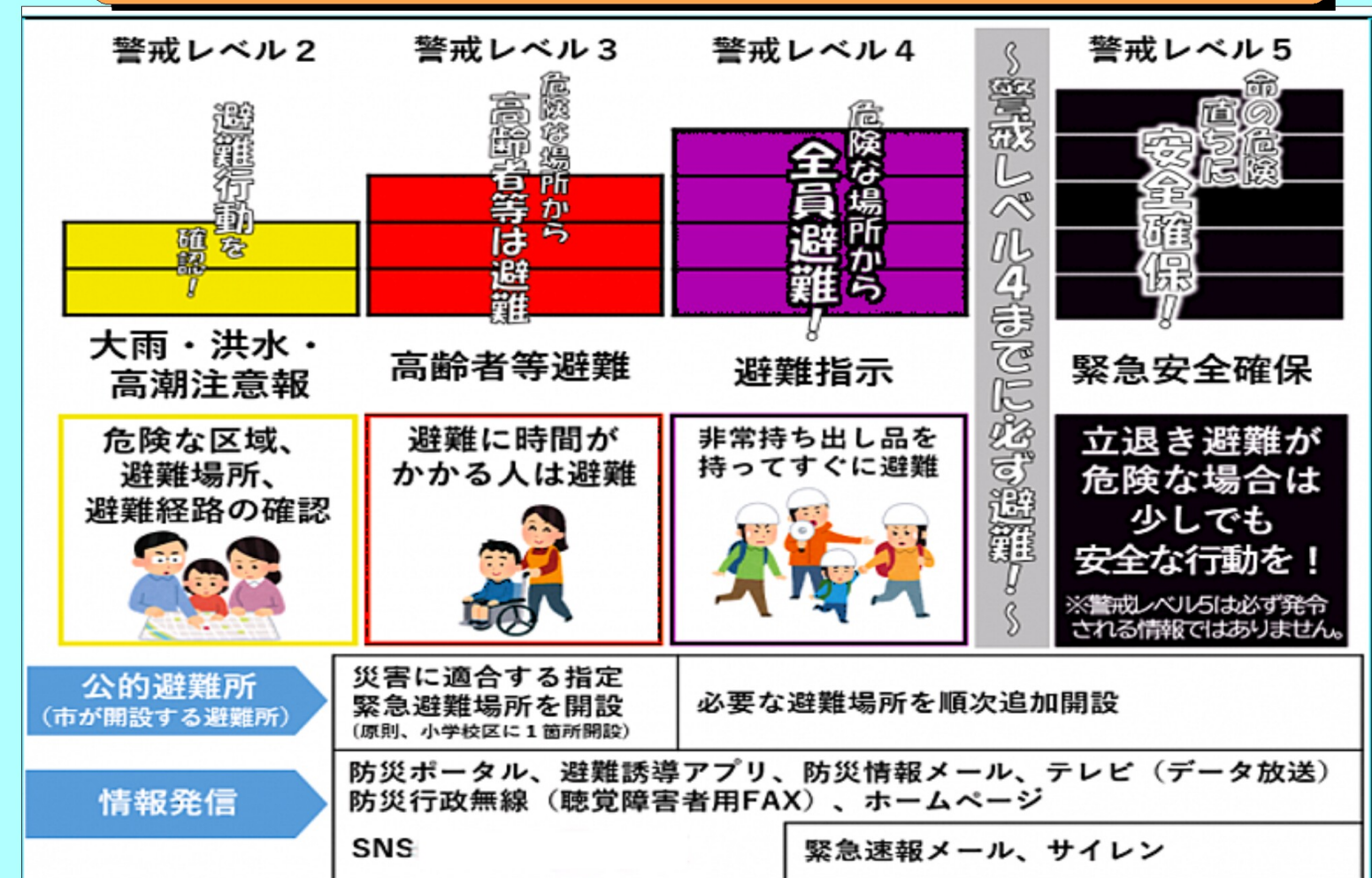
進等のソフト対策を推進するための法律で平成13年4月に施行されました。

■ 土砂災害防止法で対象としている土砂災害は、①がけ崩れ、②土石流、③地すべりの3種類です。

■ 光が丘を含む尾長・白島学区は、平成30年3月29日に、同法に基づき特別警戒区域や警戒区域等が指定されました。



避難はタイミングを逃さない



事前に避難先を決めておきましょう

—土砂災害の場合—

基本は

警戒区域外にある知人や
親族のお宅、市が定めた
指定緊急避難場所など

避難が
遅れた
場合は

- ①近隣の頑丈な建物内
で安全を確保する
- ②外が危険な場合は、屋
内の上階（山側の反対
側）で安全を確保する

町内会も避難を呼びかけます

—警戒レベル3, 4が発令された場合—

会長、副会長、防災部長など
が集まり、対応策を協議

災害の発生に恐れのある地区の会員に緊
急連絡網※を通じて、避難を呼びかけ

総務 区長 評議員 会員

※緊急連絡網は毎年6月、町内会の各家庭に配布

■ このたびの更新に当たっては、広島県自主防災アドバイザーで、日本地質学会会員の越智秀二さんにご指導いただきました。